

令和3年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	リニア開通を見据えた地域連携 DMO による観光地域づくり推進事業
事業主体 (連絡先)	一般社団法人 長野伊那谷観光局 (事務局：上伊那広域連合内 電話：0265-98-8451)
事業区分	⑥ア 特色ある観光地づくり
事業タイプ	ソフト ハード
総事業費	7,235,240 円 (うち支援金：5,788,000 円)

事業内容

- マーケティング分析事業「来訪者満足度調査」
 - 調査項目：満足度・リピーター率等
 - サンプル数：国内旅行者 132 件、訪日外国人旅行者 3 件
- アドベンチャーツーリズム商品造成販売・受入整備事業
 - アドベンチャーツーリズムガイド養成事業
 - 人材養成講座開催 (指導者研修 2 回、ガイド研修 2 回)
 - アドベンチャーツーリズムインバウンド商品販売強化事業
 - セールスコール 5 社、商談会 21 社 等
 - サイクルツーリズムガイド養成事業
 - サイクルツーリズムガイド養成講座開催 全 6 回
- ユニバーサルツーリズム推進事業
 - 意識醸成を図るセミナー・フィールドワークの実施
- 情報発信力強化事業
 - HP の特集・体験記事の掲載 19 本、住民ライター講座 6 回開催等



【サイクルツーリズムガイド養成事業】

事業効果

- マーケティング分析事業について、観光庁日本版 DMO 認定の必須要件である KPI 指標数値の取得及び旅行者の傾向を調査・獲得した。地域一体となったマーケティング戦略の策定に反映した。
- アドベンチャーツーリズム商品造成販売・受入整備事業について、観光ガイドを育成したことによって上伊那の魅力を旅行者へ十分に伝えられるガイドが増え、旅行者に対する満足度や受入整備の向上へとつながった。
- ユニバーサルツーリズム推進事業について、行政関係者を対象にセミナー・フィールドワークを行い、観光地のバリアフリー化に対する実態の共有・体感を通して意識醸成することができ、受入整備の第一歩となった。
- 情報発信力強化事業について、旅行意欲の動機付けとする当観光局 HP のブランディングページ (特集記事) や住民ライター体験記事を充実させたことで上伊那地域への来訪意欲を喚起し、今後の誘客へとつなげた。

【目標・ねらい】

- ①観光を通じて上伊那の魅力を発信し、国内外の交流人口の増加による地域づくりを目的とする。
- ②現在、上伊那地域で不足しているツアーガイド育成や情報発信等について、強化するための受入整備及び効果的な情報発信に取り組むことで国内外の誘客を図る。

※自己評価【 B 】

【理由】

ツアーガイドとして活躍が期待できる方々を募り、養成講座を通して基本的な知識・技術が備わったことから、今後のツアー実践に向けた受入整備及び連携体制を構築することができた。また、旅行意欲の動機付けとなるような体験記事の量・質の充実により、ウェブサイトの効果的な情報発信の仕組みが整った。

今後の取り組み

今後も、地域の伝統や文化を大切にしながら健康で安心して暮らせる持続可能な観光地域づくり (観光による地域経済と雇用の活性化及び移住・定住の促進「住んでよし、訪れてよし」) に取り組み、観光局を地域と観光客を繋ぐプラットフォームとして、多様な関係者の参加のもと、官民一体となった観光地域づくりを推進する。

これまで取り組んできた国内外への観光情報の発信や商品造成をはじめとする受入整備を継続しつつも、次のステップとして流通環境の整備や売上に繋げる仕組みづくりに取り組みます。

また、リニア中央新幹線や三遠南信自動車道開通、松本空港の国際化等を見据え、上伊那全体をひとつの観光エリア「INA VALLEY」と位置付け、南信州、木曾地域を加えた複数の広域圏を結ぶ多面的な広域観光を推進していく。